

# 平成30年度予算見積調書

課室名：さきたま史跡の博物館

担当名：総務・公園管理担当

内線：

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B99	オリパラおもてなしミュージアム 来て、見て、触って！古墳の世界-豪族の時代-		一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費	
事業期間	平成29年度～平成32年度	根拠法令	埼玉県立史跡の博物館条例、同管理規則			宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化
					分野施策	061349	文化芸術の振興	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ等を契機として、国内外からの来訪者に対する「おもてなし環境」を整備し、埼玉古墳群や出土品の魅力を発信することにより、「古代埼玉」の理解を深めるとともに、郷土愛の熟成と国際交流の振興につなげる。</p> <p>(1) 設備整備費 7,532千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 設備整備費 7,532千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 企画展シンポジウムの開催 蓄積された近年の調査成果を広く発信するものとして、平成31・32年度に全館連携企画のもとで、埼玉古墳群及び古墳出土のハニワをテーマとした2つの企画展とシンポジウムを開催する。 それに向けて、平成29・30年度では、触れる複製資料の制作や音声ガイドの整備、資料修理を行う。</p> <p>イ 体験プログラムの開発と実施 古代体験を主題としたプログラムや外国人向けのプログラムを平成31・32年度に実施する。そのため平成30年度に使用物品の制作やイベントを行う。</p> <p>ウ 多言語化対応 埼玉古墳群の解説パネルや館内サインを国際化に対応したものとするとともに、館内・公園内のWi-Fi環境を整備する。</p> <p>(3) 事業効果 古代埼玉の歴史的魅力を国内外に発信できる。その魅力が再認識されることにより、埼玉の観光が活性化され館利用の促進が図られる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細節) 社会教育施設費 (積算内容) 博物館費 地方創生推進交付金 地方負担10割に対し、交付税措置あり								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.6人=43,700千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	7,532	国庫支出金	3,550				3,982	1,569
前年額	5,963						5,963	